



身近な環境を考える～私たち科学技術部の活動～

科学技術部 マスコットキャラクター ウミナ君

三重中学校・高等学校 科学技術部

三重中・高 科学技術部について

活動内容

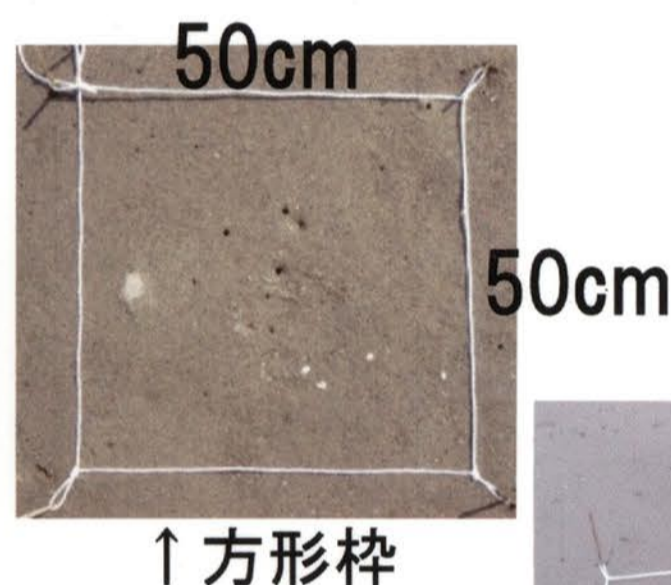
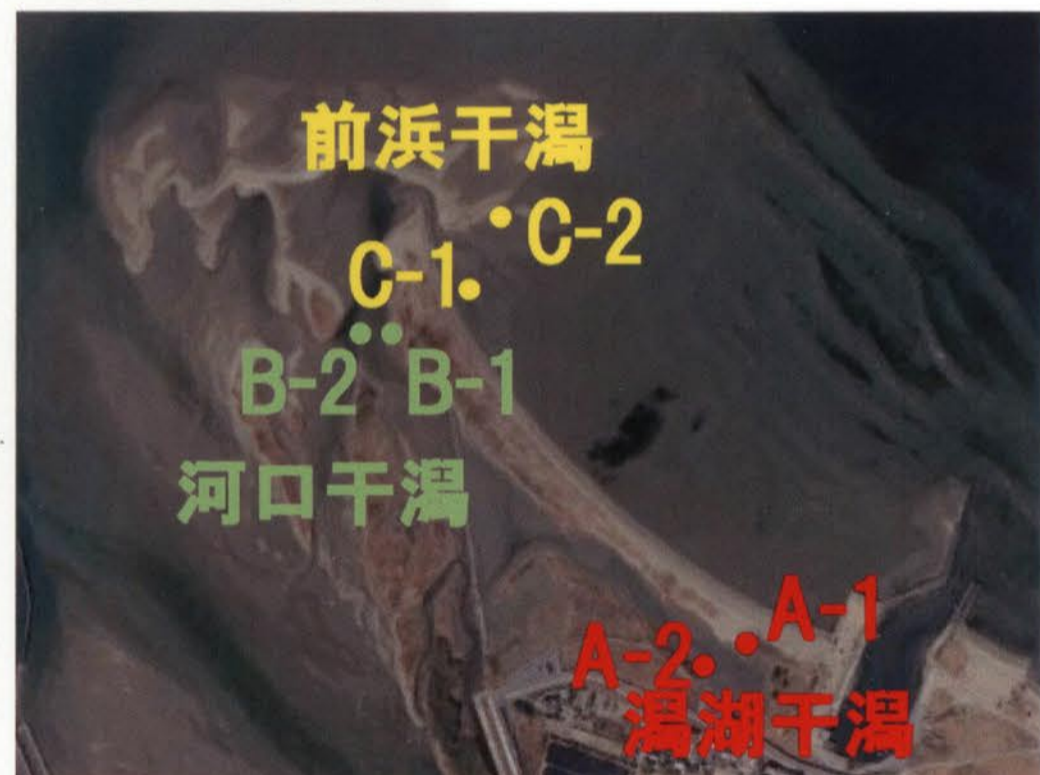
- ・海の活動
調査、環境教育、環境活動
 - ・森林についての活動
 - ・学会などでの発表
- 部員42名・顧問5名(2019年1月)



海の活動

私たちは伊勢湾最大級の干潟、松名瀬干潟で月に1回調査をしています。先輩から後輩に受け継がれて、今年で8年目です。

・松名瀬干潟・・・潟湖干潟、河口干潟、前浜干潟の3種類の干潟が揃っていて、とても貴重な環境です。



←松名瀬干潟 (Google Earthより)



- ・調査方法・・・3種類の干潟に2地点ずつ地点を設置します。(1:高い所、2:低い所) 各地点に5つの方形枠を設置し、地表の生物(表在)と地中の生物(埋在)を採ります。生物の種類、個体数、サイズを測ってデータ化し、結果を考察します。この調査の経験や、発表をした経験などから、多くの人に松名瀬干潟、自然環境、生物に興味をもってもらおうと、環境教育を行っています。
- ・次のような流れで行ってきました。

調査や発表を行っていく中で、松名瀬干潟が貴重な環境であることを知り、その貴重な環境を未来へ受け継いでいこうと考えました。

そのためには、自然環境について多くの人に意識を持ってもらうことが重要だと考えました。

今までの知識や経験を活かして環境教育を行い、そのイベントの中で多くの人に様々なアプローチで海や生物について興味を持ってもらっています。



ビーチコーミング



潟湖干潟で生き物探し



タッチプールで干潟再現

森の活動

私たちは、海の環境を良くしていくためには森の環境も良くしていくことが必要だと考えます。調べてみると、管理する人がいなくなり荒廃した人工林が増えているとわかりました。そして、それによって災害が起こりやすくなっています。

荒廃した人工林をなくしたい

学生ができるのは？

森林ボランティア

でも意見を聞くと...

大半が自分から参加しない

(本クラブで実施した高校生へのアンケートより)

関心を持ってもらおう

授業に取り入れられる教育プログラムを作り、皆に「主体的に森林に関わっていける」人になってもらおう

実際にプログラムを作成し、模擬実施しました。参加者の意見などから、さらにプログラムを改善していきます。



↑ 海に流木が漂着した例 (出典: 森の健康診断 http://mori-gis.org/modules/pico2/index.php?content_id=32)

部員のマネジメント

科学技術部では、部員一人ひとりが主体的な(自ら行動をとれるような)人材になるため、部員に対するマネジメントを行っています。そして、部員に対して次の2つの能力を必要としています。

1. 主体的に活動に参加できること。
 2. 活動の内容や意味を正しく理解していること。
- どのような部員・部活を育てるかに応じて、様々な種類のマネジメントを行ってきました。

- | | |
|------------|--------------|
| ①部員募集 | ⑥ディスカッションの管理 |
| ②道具の管理 | ⑦礼儀を教える |
| ③出欠管理 | ⑧人間関係を広める |
| ④期限を守る | ⑨反省会の運営 |
| ⑤技術・研究を教える | ⑩活動内容を理解させる |



↑ ②道具の管理



↑ ⑦反省会の運営

個々のマネジメントに応じて、新たな企画を行ったりし、これからもさらに発展させていきたいと考えています。

まとめ

松名瀬干潟での調査、環境教育、森林についての活動、マネジメントをこれからも継続していきます。また、学会などで積極的に発信したり、新たな活動も始めたりと、これまでに行ってきたことを活かして、さらに活発に活動を行っていきます！



【本校は2015年度より海洋教育バイオアスケットプログラムに採択され、助成を受けて活動しています。】

こどもエコクラブ壁新聞 (2018年度) (A2サイズ用)

クラブ所在地

三重
松阪

都道府県
市区町村

クラブ名

三重中学校・高等学校 科学技術部

(2018年度 応募作品) 幼児クラブの審査を希望